

新潟県

発行・編集

公益社団法人 新潟県看護協会新潟県ナースセンター

〒951-8133 新潟市中央区川岸町2丁目11番地 TEL025-233-6011 FAX025-265-4188

E-mail niigata@nurse-center.net

ナースセンター だより



錦 鯉(小千谷市)

Contents

ごあいさつ	2
ナースセンター事業実績	3
看護師等の離職時等の届出制度(とどけるん)実績・届出制度案内	4
看護の日 出前授業・高校生一日看護師体験事業	5
看護職員再就職支援セミナー	6~7
復職体験談	8~9
「看護職の労働環境相談」のご紹介・ハローワーク連携事業	10
訪問看護推進事業	11
令和5年度 未就業看護職員実態調査	12~15
新潟県ナースセンター支所・相談窓口紹介	16

No.58

令和6年2月発行



ごあいさつ

新潟県ナースセンター
所長 斎藤 有子

日頃より新潟県ナースセンター事業にご支援をいただき感謝申し上げます。

新潟県ナースセンターは、新潟県における看護職人材確保の拠点として、ナースバンク事業、看護職員再就業支援強化事業、訪問看護推進事業、「看護の心」普及事業、労働環境改善事業に取り組んでいます。

看護職無料職業紹介（ナースバンク）事業は、看護職員の確保・定着支援のため、県内5か所で実施しています。ナースセンター本所（新潟県看護研修センター内）、長岡支所、上越支所の3か所、及び相談窓口の南魚沼市、柏崎市の2ヶ所で行っていますので、どうぞご活用ください。また、離職時等の届出制度の周知や登録支援についても取り組みを進めておりますが、引き続きご協力をお願いします。

さて、2023年10月26日「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が告示されました。基本指針には、看護職が生涯を通じ、専門職として働き続けるために重要な事項が書かれています。その中で、「看護師等の就業の促進に関する事項」には、現役世代が急減する中で、増大する看護ニーズに対応していくためには、看護職の確保に向けた「新規養成・復職支援・定着促進」を3本柱とした取り組みの推進が重要であること。そのために、潜在看護職に対する復職支援の充実と、就業している看護職のスキルアップの推進が必要であることが示されました。ナースセンターにおける職業紹介及び就業に関する相談等の充実や、公共職業安定所との緊密な連携を通じたマッチングの強化と「デジタル改革関連法を踏まえた看護職の人材活用システム」による看護職のスキルアップの推進の重要性、生涯にわたる看護職の就業推進が必要であると記載されました。また、今般の新型コロナウイルス感染症については、ナースセンターによる職業紹介や就業前の事前研修の実施を通じて、潜在看護師等を確保する等、迅速に対応したところですが、今後の新興感染症の発生に際しても、地域の実情や病院等のニーズに応じてこうした取り組みが期待されています。

このように、ナースセンターを強化する視点が多く挙げられていますが、他の改定項目の「看護師等の養成に関する事項」、「病院等に勤務する看護師等の処遇の改善に関する事項」、「研修等による看護師等の資質の向上に関する事項」等も併せて、基本指針の改定内容を受けて取り組みを進めていくとともに、今後も、皆様に利用していただくためにきめ細やかな事業運営に心がけていきます。ご協力、ご支援をお願いいたします。

ナースセンター事業実績

新潟県ナースセンターでは、厚生労働大臣の許可を受け、看護職の無料職業紹介事業を行っています。新潟市の本所をはじめ、長岡支所、上越支所、南魚沼相談窓口、柏崎相談窓口における事業実績を以下に報告します。

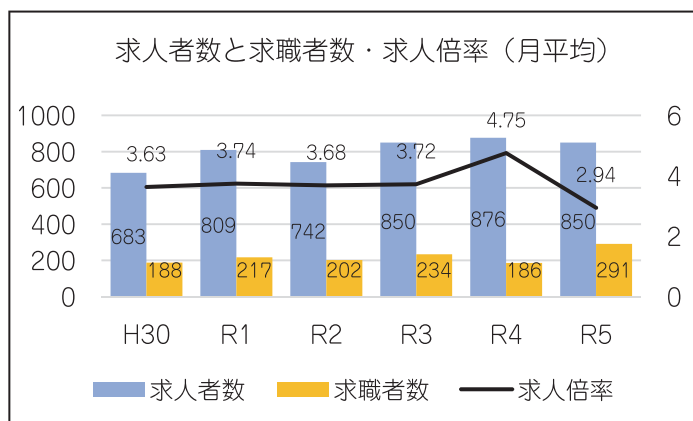
(令和5年4月～11月末迄)

1 ナースセンター相談実績

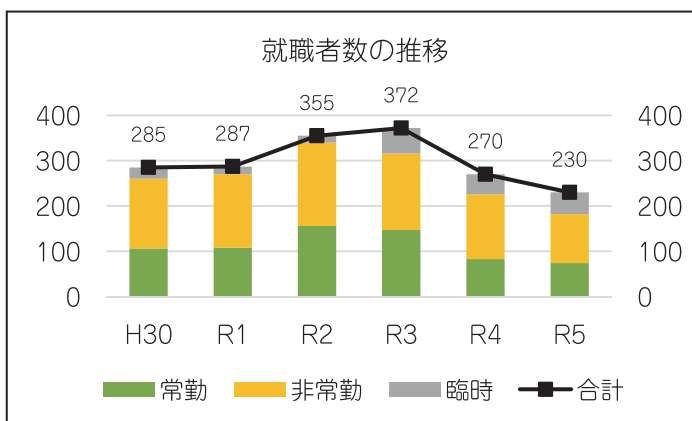
	来所	電話	郵送・FAX	メール・システム問い合わせ	合計
求職者	481	1,938	176	1,351	3,946
求人	97	1,867	80	326	2,370



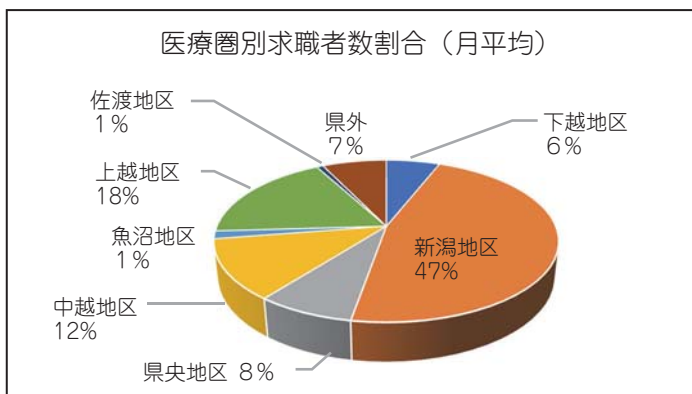
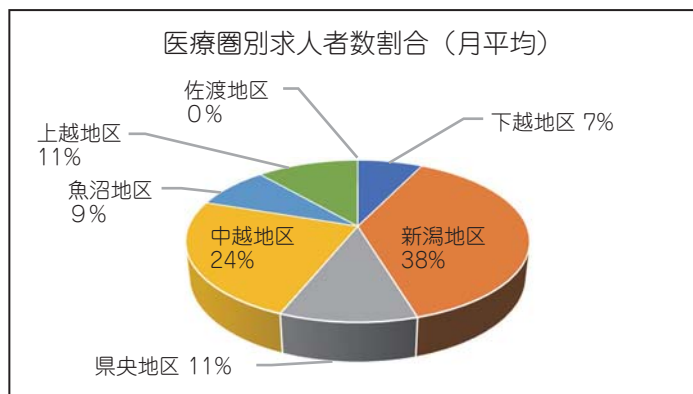
2-1) 求人者数・求職者数・求人倍率の推移(月平均)



2-2) 就職者数の推移



3 月平均医療圏別求人者数・求職者数

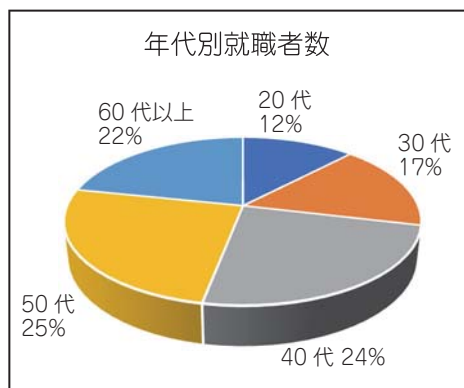


4 就職者内訳 n = 230

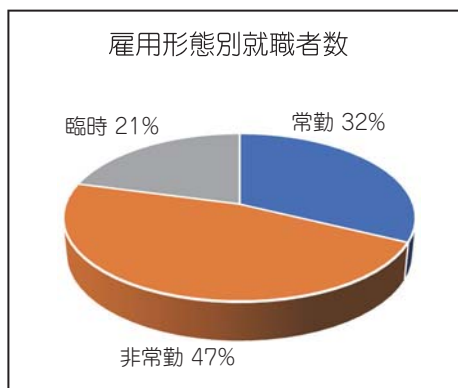
1) 施設別就職者数(イベント・救護を除く)

就職者の就職先別では、「病院」に就職した人が最も多く34%、次いで「診療所」18%、「デイサービス・デイケア」12%、「その他社会福祉施設」11%の順であった。「訪問看護ステーション」は4%であった。

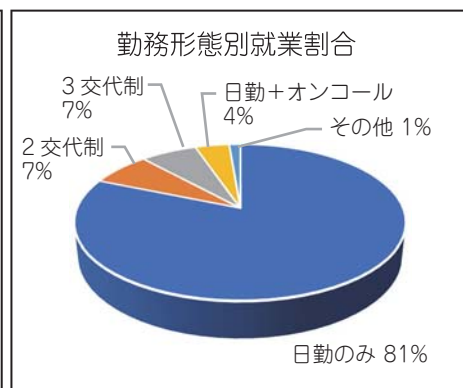
2) 年代別就職者数



3) 雇用形態別就職者数



4) 勤務形態別就業割合



看護師等の離職時等の届出制度(とどけるん)実績・届出制度案内

新潟県の届出登録の状況

■届出総数 4,357 人（平成 27 年 10 月～令和 5 年 11 月 30 日）

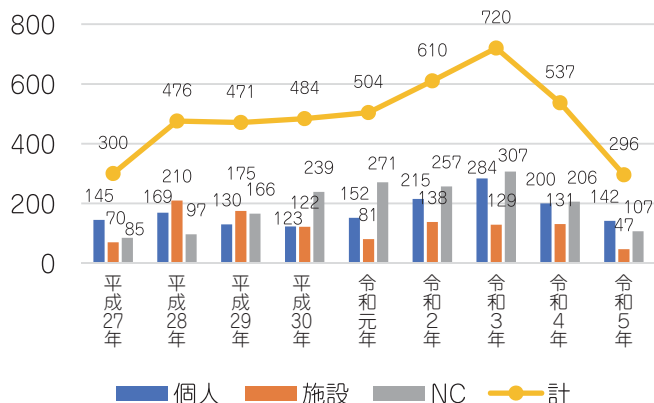
■届出数、届出方法の推移

令和 5 年 11 月末で 296 人、令和 4 年度同月よりも 96 人減。
個人登録数が増加傾向です。

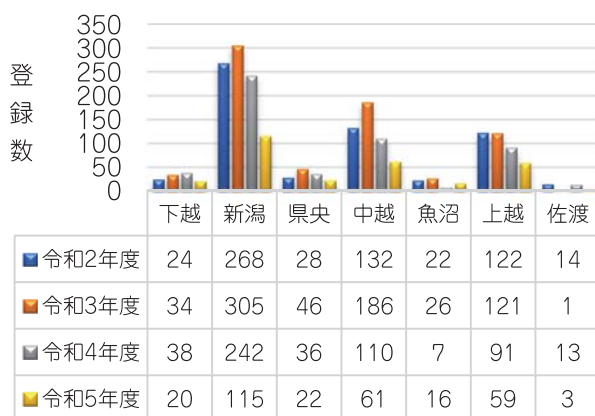
■医療圏別登録者数

今年度は、各医療圏もコロナ禍であった令和 2 年～
令和 4 年に比べ登録者数は減少しています。

届出登録数と届出方法の推移



医療圏別登録者数



離職時等に「届出登録」をしていただくことの意味



少子化が進む中で、看護職員の人材確保を進めていくためには、潜在看護職員の復職支援を強化していく必要があります。「業務従事者届」は、保健師助産師看護師法に基づき義務づけられていますが、平成 27 年 10 月「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正がされる迄は、未就業の方を把握する方法がなかったのです。

この改正により、看護師等の免許をお持ちの方が、それらの仕事に就いていない場合や離職した際は、ナースセンターに氏名や住所、連絡先などの情報を提出することになりました。

その結果、離職中の看護職の方々が、再び医療・介護・福祉の現場に復職できるよう、ナースセンター側から、ご本人への連絡や情報発信、個別に応じたアプローチが可能になったのです。

看護管理者の皆さまには、離職される看護職の方に、届出登録の説明に加え、看護師等の免許を活かし、病院や施設が違って、看護を必要するために働き続けるよう支援の言葉を掛けて頂きたいと思います。

また、自病院への離職防止・定着への取り組みも引き続きお願いいたします。

♥ 看護師等の免許を有していて離職等された方は、“とどけるん”のサイトから登録をお願いします。

♥ 届出登録で、よく聞かれるご質問

Q. 今の職場を辞めて、次の職場が決まっているから届出は必要ないのではないかな？

A. 法律上、「病院等を離職した場合」に届け出る必要がありますので、届出の対象になります。その場合、届出内容の「就業に関する状況」で「就業中・就業予定（看護師等）として届け出て頂くことになります。

※届出は、「とどけるん」または QR コードから

パソコンから

携帯電話から



♥ ご不明点は、いつでもナースセンターご連絡下さい。

看護の日 出前授業・高校生一日看護師体験事業

看護の心普及事業〔若年層を対象とした看護職普及活動の取り組み〕

十日町市の中学生に出前授業

令和5年5月12日看護の日事業にて、十日町市の千年の森ホールで出前授業を開催いたしました。中魚沼地域の看護師数が少ないこと、また令和2年度に開校した県立十日町看護専門学校の近隣であることから、看護職の職業選択を推進することを狙いとし、十日町市での開催が決められました。参加校は、学校からの希望を募り、下条中学校、水沢中学校、川西中学校、松代中学校の4校、総勢143人でした。

講師は、県立十日町病院の主任助産師の越村悦子さん、訪問看護ステーションおむすびの管理者の諏訪部有子さん、また県立十日町看護専門学校2年生の大久保里莉さん、水落愛さんをお願いし、「命の大切さ」や「地域医療に携わる喜び」、「看護学校での授業や看護師を志したきっかけ」をテーマに、講義や体験を行いました。生命の誕生に関する〇×クイズや赤ちゃんのモデルを抱いてみる体験、訪問看護の際どのような活動を行っているのか、看護学校の授業風景や演習の様子について等、学生さんが看護師を目指すにあたり知りたいことについて様々な視点からの授業が行われました。

生徒さんからは、赤ちゃんや訪問看護に関する質問や、看護学校での授業や患者さん視点での疑問について様々な質疑応答が行われました。

今後も若年層を対象とした、看護職の理解とキャリア形成促進への取り組みを続けていきます。



講師の越村悦子さん



高校生1日看護師体験

コロナ感染症により令和2年度より3年間は、事業の縮小をせざるを得ない状況でしたが、令和5年7月27日～8月18日の期間に於いて、昨年度の約3倍にあたる県内91施設で700人の高校生が参加することができました。昨年度参加した高校生の89%が看護・医療系に進学いたしました。看護職を目指している学生や看護に興味がある学生にとって、実際の「看護」に触れ、貴重な体験となりました。お忙しい中、ご協力いただいた施設の皆様に感謝いたします。

〈体験集の中で看護師への感想〉



コミュニケーション
の取り方が上手

患者さんを笑顔に
するところが素敵

働いている姿が
とてもかっこいい



看護職員再就職支援セミナー

新潟県ナースセンターでは、看護職の資格をお持ちの未就業者を対象に、再就職支援セミナーを実施しました。どなたでも時間や場所を問わず学習できる「e ラーニング」、ブランク解消にむけて、現場で必要とされる知識や看護技術を学ぶ「基礎コース」他、プラチナナースを対象としたセミナーを実施しました。

また、実際の現場を見学・体験できるコースも開催！

ご協力いただいた講師のみなさま・各施設のみなさまには、心より感謝いたします。

★e ラーニング・基礎コース

令和5年12月末現在

コース	日程	会場・内容	受講者数	就職者数
e ラーニング	6月～3月	看護職向けの講義等のネット配信サービス	47	13
基礎コース	7月12日	上越市市民プラザ ※プラチナナース対象 ＜セカンドライフに備える生活設計 / 看護職同士の交流会＞	12	3
	7月19日	長岡市さいわいプラザ ＜看護の動向 / 看護職同士の交流会＞	10	4
	8月21日	新潟県看護研修センター ※プラチナナース対象 ＜セカンドライフに備える生活設計 / 病院・介護・訪問看護の現場から（プラチナナースの活躍） / 交流会＞	9	1
	9月4日	新潟県看護研修センター ＜看護の動向 / 採血・点滴の基礎看護技術 / 交流会＞	16	3
	9月27日	長岡市さいわいプラザ ※プラチナナース対象 ＜セカンドライフに備える生活設計 / 看護職同士の交流会＞	5	0
	10月3日	新潟県看護研修センター ＜看護の動向 / 急変時対応 / 交流会＞	10	3
	10月25日	長岡市さいわいプラザ ＜看護の動向 / 採血・点滴の基礎看護技術 / 交流会＞	3	1
	11月7日	上越市市民プラザ ※プラチナナース対象 ＜セカンドライフに備える生活設計 / 交流会＞	11	2

＜受講者の感想・セミナーの様子＞



～e ラーニング受講者からの感想～（一部抜粋）

- ・手技的な技術方法を映像で見ることができて、わかりやすかったです。介護施設における内容も学べました！
- ・最新の看護技術が知れたことと、看護・医学知識を再確認できて良かったです。

～基礎コース受講者からの感想～（一部抜粋）

- ・年金について詳しく知る良い機会になりました。充実した日々を送れるように働き方をよく考え、少しでも長く働き、老後に備えます！まだまだ働ける、とパワーをもらいました。
- ・自分が再就職に対して、何に悩んでいるのか…という点が明確になった気がします。とても刺激になりました！
- ・ブランクがあることへの不安が軽減できました。
- ・とても前向きな気持ちで帰れそうです♪ 楽しく学べました。



講義・採血演習の様子です



★見学コース

令和5年12月末現在

コース	日程	会場・内容	受講者数	就職者数
見学コース	6月28日	(株)ツクイ ツクイ新発田（訪問入浴）	2	1
	9月13日	愛宕福祉会 新潟北愛宕の園（特別養護老人ホーム）	2	1
	9月21日	(株)ツクイ ツクイ新潟猿ヶ馬場（訪問入浴）	2	2
	10月17日	愛宕福祉会 中之口愛宕の園（特別養護老人ホーム）	4	1

＜受講者の感想・セミナーの様子＞



訪問入浴車を見学♪

入居者様のお部屋を見せていただきました



～見学コース受講者からの感想～（一部抜粋）

- ・実際に働いている方から直接お話が聞けて、仕事のイメージできて良かったです。不安が解消されました！
- ・施設全体が明るい雰囲気で、働きやすそうな現場でした。

～受入施設担当者からの感想～

- ・高齢者施設等の業務内容を知ってもらうことで、求職者のみなさまの不安を少しでも軽減できればと思い、参加しました。



訪問バッグの中身もチェック！

浴室も広く、整理整頓されていました。



★見学＋ミニ体験コース

令和5年12月末現在

コース	日程	会場・内容	受講者数	就職者数
見学＋ミニ体験コース	8月24日	関病院	1	1
	9月26日	新潟医療センター	5	2
	11月15日	介護老人保健施設 てらどまり	2	0

＜受講者の感想・セミナーの様子＞

～見学＋ミニ体験コース受講者からの感想～

（一部抜粋）

- ・研修制度の充実や働き方が様々あると知り、復職を検討してみたいと思いました。院内の様子・現場の雰囲気を感じられ、とても貴重な経験でした。
- ・カンファレンスを見学させていただいて、雰囲気を肌で感じることができ、自分が働いていた時のことを思い出しました。

～受入施設担当者からの感想～

- ・就職を検討している方への多様な働き方・支援体制があることを知ってもらう機会となればと思い、参加しました。
- ・中途採用者の支援体制（日々の業務や研修など）に、ニーズがあることがわかり、とても参考になりました。



リフトを使用した介護移乗体験を見学！



病院内でも看護技術演習をしていただきました。



～ナースセンターでは、看護職の方のためにさまざまな研修を準備しています！ぜひナースセンターをご活用ください～

復職体験談



特別養護老人ホーム 「サンクスレルビの森」

多賀 順子さん (50代)

✧ 20年ぶりの看護の仕事！
あせらず覚えていきます！



夫の転勤や子育てで20年近く看護から離れていました。新型コロナウイルス感染症をきっかけに、ナースセンターを知りました。そこから施設見学ツアーやプラチナセミナーなどに参加しました。そこでいろんな場所で働いた方々との情報交換会がとても有意義で、看護にまた復職したくなりました。不安はいっぱいでしたが、先月から特養に週3日短時間で働き始めました。まだまだ慣れていませんが少しずつできることが増え、やりがいを感じています。

施設長 塚田 光知子さま より

ナースセンターから看護師の求職相談を受けたことが始まりでした。看護師としてブランクがあり医療機関へ復帰する不安があり、介護施設で再スタートをきりたいという方でした。

当施設では、1年前から介護士という職種に看護師・介護福祉士が混ざり合ってケアに取り組んでおります。導入当初は、職種を超えた働き方が上手く運用できるか不安でしたが、目的は「利用者のケア」であると改めて実感しました。介護現場において、働く人たちのワーク・ライフ・バランスを整えることは、利用者のケアにも影響します。多様な働き方・柔軟な勤務形態により、施設にとっても、働く人にとっても、ライフスタイルやそれぞれが持つ特性に応じた働き方を目指すことができます。

ブランクある多賀さんを短時間で採用しました。少しずつ仕事を覚えて頑張っています。



復職者へのインタビュー



Aさん 柏崎地区・30代・病院

復職を決めた理由

Uターンをしたことで、家族からの子育て援助を受けることができたからです。

今の施設を選んだ理由

見学に行ったときに病院の雰囲気が良かったからです。

復職で仕事を探すまでに大変だったこと

子育てのなかで再就職には不安があったが、家族の援助やナースセンターなどに相談したことで安心して探すことができました。



Bさん 上越地区・50代・病院

復職を決めた理由

子供たちも成長し、家庭の状況も復職できる環境になり、もう一度看護の仕事に戻りたいという気持ちになりました。

今の施設を選んだ理由

以前に勤めていた職場に非常勤の募集があったからです。

復職で仕事を探すまでに大変だったこと

新しいことに踏み出せなく迷っているうちに休職期間が長くなりました。
ナースセンターの方々に、施設見学等の橋渡しをしてもらい一歩踏み出せました。



Cさん 中越地区・30代・介護医療院

復職を決めた理由

以前の職場を退職してから休職した期間がありましたが、働きたい気持ちと働くならまた看護師として頑張りたい気持ちがあったため復職しました。

今の施設を選んだ理由

施設見学した際に、患者さんが在宅に近い環境で必要な医療も受けられる設備が整っていると感じました。私自身が今まで経験した救急病院での看護や、介護施設での経験を活かすことができると感じ転職を決めました。また、働くスタッフが明るく挨拶を交わしている場面が多く好印象だったのも今の職場を選んだ理由です。

復職で仕事を探すまでに大変だったこと

私が大変だと感じたのは自分がやりたい看護ができる病院を探すことでした。一度転職した場所では思っている環境ではなく、長く働くことは出来ませんでした。自分がどんな看護がしたいのか、どんな環境なら続けていけるのかをもう一度見直して転職活動しました。休職中は早く働かなきゃという焦りもありましたが、じっくり考えてやりたいことが出来る病院で働くことが出来て良かったと思っています。



Dさん 下越地区・50代・社会福祉施設

復職を決めた理由

転居のため前職を退職しました。すぐに復職を考えていましたが子供が新しい環境になかなか馴染めなかった為復職を見合わせていました。やっと落ち着いて生活が出来るようになってきたため復職しました。

今の施設を選んだ理由

前職と環境が似ており、今までの経験を活かす事が出来たことと、就業時間、社会保障などの、条件が希望と合っていたためです。

復職で仕事を探すまでに大変だったこと

まだ子育て中であるため、なるべく子供に寄り添った生活スタイルであることを望んでいました。そのためワガママともみえる私の条件でしたが、ナースセンターの担当者さんは否定することなく、気持ちを受け止めてくださった事で安心して求職活動ができました。私に合った働き方を見つけてくださり本当に感謝しています。

＊ 復職体験談およびインタビューへのご協力ありがとうございました ＊

「看護職の労働環境相談」のご紹介

新潟県看護協会労働環境改善推進委員会では、看護職が働き続けられる職場環境づくりを推進していくため、新潟県内の看護管理者を対象に、看護職員の労働環境に関する相談を承っています。

定着・離職防止

勤務形態
夜勤に関すること

有給休暇に関すること



長時間労働に関すること

他職種との連携・協働に関すること

看護管理の経験を有する、委員会メンバーが相談を承ります。

ホームページから申込用紙をダウンロードして、担当理事（安江）までメールでお申し込みください。

～お問い合わせ～

公益社団法人 新潟県看護協会 労働環境改善推進委員会（代表） 常務理事 安江
e-mail : info@niigata-kango.com 電話：025-265-1225（代表）

ハローワーク連携事業

その１：看護のお仕事相談会

看護のお仕事相談会（看護職員再就職支援相談会）は、新潟県内13ヵ所のハローワークと新潟県ナースセンターが連携して開催しています。再就職に向けた相談や求人等の情報提供、再就職支援セミナーの案内、資格取得に向けた相談等について、ナースセンターの相談員（看護職）が各地のハローワークに出向き、対応します。



★申し込み先：ハローワーク各窓口（予約制・相談無料）

※どの地域のハローワークでも参加できます

★相談日程：お近くのハローワークまたは新潟県ナースセンターのホームページでご確認ください

その２：看護の就職応援セミナー ～再就職に向けた求職者セミナーを開催～



ハローワーク 新潟	8月24日	●看護の労働市場 ●学校看護師・訪問看護 ～仕事内容や特長・働き方について～
ハローワーク 長岡	12月19日	●訪問看護の仕事内容や特長・働き方について

学校看護師は、学校で医療的ケアを行うことで、子供たちの成長発達を支援しています！（講師より）

・子供の頃、学校が好きだったなぁと思い出しました。
・学校看護師、とても興味が湧きました。
・知らない分野の仕事内容が聞けて、良かったです。
（学校看護師について：受講者より）



・ゆっくり深く関われるのは、とっても魅力的ですね。
・想像していたよりも「できそう！」な印象に変わりました。
（訪問看護について：受講者より）



訪問看護は、利用者様・ご家族様が「待っていたよ」と笑顔で迎えてくださいます♪体験プログラムもあります！（講師より）



その３：介護施設の看護職員確保のための求人セミナー ～人材確保・定着のための求人セミナーを開催～



ハローワーク 新潟	12月4日	●働きやすい介護施設について ●看護職員人材確保・定着についての工夫（事例紹介） ●看護職の労働市場・求職者のニーズについて
--------------	-------	--

受け入れ側として働きやすい環境を整備し、まずはパートなどの短時間勤務から採用して、家庭の状況などに応じて時間や日数を増やしていくなど柔軟に対応できるようにすることが必要と感じました。（受講者より）

訪問看護推進事業

訪問看護提供体制の安定および推進を支援する拠点として訪問看護総合支援センターを設置し、間もなく2年になります。主要課題は、1. 訪問看護事業所の運営支援 2. 訪問看護に従事する人材の確保 3. 訪問看護の質向上 4. 訪問看護ネットワークの推進 です。



安定的な訪問看護師確保に向けて、今年度は新潟県訪問看護ステーション協議会のご協力を頂き、県内各訪問看護ステーションの現状を伺いました。様々な取り組みや工夫がされている中で、今回はその取り組みの一例をご紹介します。また、採用された訪問看護師から「訪問看護の魅力」を語っていただきます。

訪問看護推進課・訪問看護総合支援センター

訪問看護師の確保と定着のための取り組み

ふもと訪問看護ステーション 管理者 小林 宗乃枝 さん

ふもと訪問看護ステーションは、ここ数年の間に「家庭の事情」「健康上の理由」で看護師の退職がありました。求人募集の度に「面接に来てくれる人はいるだろうか…、もし誰も来なかったら…」と不安を感じていました。ナースセンターとハローワークに求人登録し、ナースセンターからの紹介をきっかけに現在一緒に働いているスタッフとの縁をつないでもらいました。

採用の工夫の一つ目は、職場見学により、訪問看護ステーションの特徴や雰囲気をみてもらうことです。わずかでも職場環境のイメージができれば、選択肢の一つとして考えてもらえるのではないかと考えました。

二つ目は、求職者との事前面談を行うことです。訪問看護の魅力、やりがいをアピールするだけでなく、現場での苦労話や難しさも伝えるよう心掛けました。そしてあくまでも、面接を受けるかどうかを求職者に判断していただきました。事前に面談を行うことは、お互いの考えを知ることで認識のすり合わせができるため有効な手法で欠かせない過程だと考えました。

在宅医療、地域包括ケアが求められている中で訪問看護ステーションの人材確保と定着は、大きな課題であり、訪問看護に魅力を感じるような、職場づくりをスタッフと一緒に取り組んでいきたいと思っています。(ご本人の承諾を頂き写真掲載しています。)



訪問看護の魅力

ふもと訪問看護ステーション 看護師 松嶋 美月 さん



私が訪問看護ステーションへ入職しようと決めた理由は、当ステーション管理者と出会えたことです。当時転職を考えていたこともあり、現在勤務している麓会へ見学に行きました。これまでの病院勤務では治療が主であり、日々流れるように人の出入りがありました。患者様一人ひとりとじっくり関わることができず心残りがありました。

説明を受けていく中で、訪問看護であれば生活の場を知ることができ、深く関わるができるのではないかと感じました。この瞬間、私の中で初めて「訪問看護」という選択肢が生まれました。分からない分、一から丁寧に学んでいこうという気持ちになりました。

訪問看護師となり一年が経ちます。利用者様がどんな風に生活しているのか、何を楽しみに生きているのか、人の生涯に関わるができるというのはとても贅沢なことだと感じています。在宅ではすぐに否定するのではなく、その人の楽しみや生きがいを感じていることを尊重しています。現実的にすべてを肯定していくことは難しいですが、利用者様の言葉を汲み取りながら、支えていくことはとてもやりがいを感じます。

これからも利用者様やご家族様に応えられるよう努めたいと思います。もちろん、日々反省することも多いですが、先輩方に支えてもらいながら利用者目線での看護を目指していきたいと思っています。経験が浅く不安もありましたが、一歩踏み出してみて良かったなと思っています。

令和5年度 未就業看護職員実態調査

I 調査概要

- 目的：本調査は、新潟県内に住所を有し新潟県ナースセンターに登録している看護職の実態を調査し、未就業看護職の就業を促進することを目的とする。
- 調査対象：7月1日時点で「就職活動をしている」eナースセンター登録者2,492人
- 調査期間：令和5年7月24日～令和5年8月31日
- 調査方法：調査対象者にWeb回答によるアンケートを実施
- 調査内容：1) 未就業者の退職理由
2) 未就業者の今後の就業予定、就業にあたり希望する条件
- 調査対象数：調査対象数 2,492人
有効回答数 334人（有効回答率 13.4%）



II 調査結果

1. 回答者の属性

1) 回答者の就業状況

「就業している」194人（58.1%）、「就業していない」140人（41.9%）であった。

2) 年齢

20代、70代の回答が少なく、40代～60代の回答が同等数であった。

年代別にみると30代以下では就業中が6割以上みられ、年代が高くなるにつれて未就業の割合が増えている。

	全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代
調査対象者数	334	12	58	98	88	76	2
回答率（%）	100	3.6	17.4	29.3	26.3	22.8	0.6
就業者数	194	11	37	58	49	39	0
回答率（%）	58.1	91.7	63.8	59.2	55.7	51.3	0
未就業者数	140	1	21	40	39	37	2
回答率（%）	41.9	8.3	36.2	40.8	44.3	48.7	100

2. 未就業者の状況

1) 退職時の雇用形態と離職期間

退職時の雇用形態は、「正規職員（フルタイム）」55.0%、「非正規職員（パート）」45.0%であった。

離職期間は「1年未満」42.9%が最も多く、次いで「1年以上3年未満」27.1%、「3年以上5年未満」14.3%であった。

退職時の雇用形態（n=140）（%）			離職期間（n=140）（%）					
割合（%）	正規職員 （フルタイム）	非正規職員 （パート）	割合（%）	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
全体（n=140）	55.0	45.0	全体（n=140）	42.9	27.1	14.3	7.1	8.6
20代（n=1）	0.0	100.0	20代（n=1）	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代（n=21）	61.9	38.1	30代（n=21）	42.9	33.3	9.5	4.8	9.5
40代（n=40）	55.0	45.0	40代（n=40）	40.0	30.0	12.5	7.5	10.0
50代（n=39）	59.0	41.0	50代（n=39）	43.6	17.9	15.4	7.7	15.4
60代（n=37）	48.6	51.4	60代（n=37）	45.9	29.7	18.9	5.4	0.0
70代（n=2）	50.0	50.0	70代（n=2）	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

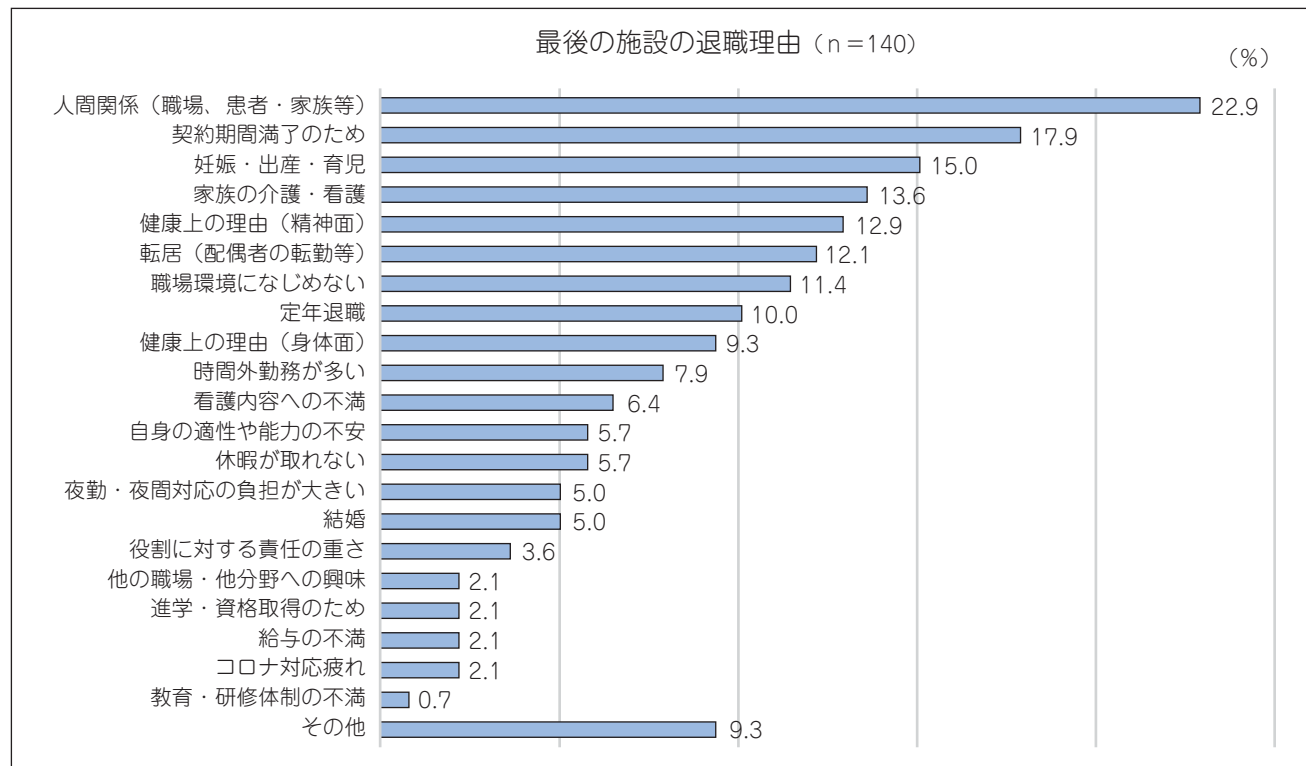
2) 退職した際の施設

最後に退職した施設は、「病院（400床以上）」、「診療所」15.7%が最も多く、次いで「コロナ関連業務」12.9%、「病院（199床以下）」12.1%であった。

全体 n=140	病院 （199床 以下）	病院 （200～ 399床）	病院 （400床 以上）	診療所	介護老人 保健施設	介護老人 福祉施設 （特養）	通所介護 （デイ サービス）	その他 介護・ 福祉施設	訪問看護 ステーション	行政（県・ 市区町村・ 保健所等）	健診 センター	企業・ 事業所	看護系 教育 機関	保育 施設	学校 （看護職）	コロナ 関連 業務	その他
割合 （%）	12.1	11.4	15.7	15.7	2.9	4.3	6.4	4.3	2.1	2.1	0.7	2.1	1.4	0.7	2.1	12.9	2.9

3) 最後の施設の退職理由（上位3つまでの複数回答）

最後の施設を退職した理由は「人間関係（職場、患者・家族等）」22.9%が最も多く、次いで「契約期間満了のため」17.9%、「妊娠・出産・育児」15.0%であった。



4) 1年未満での退職の有無と退職理由（上位3つまでの複数回答）上位5位

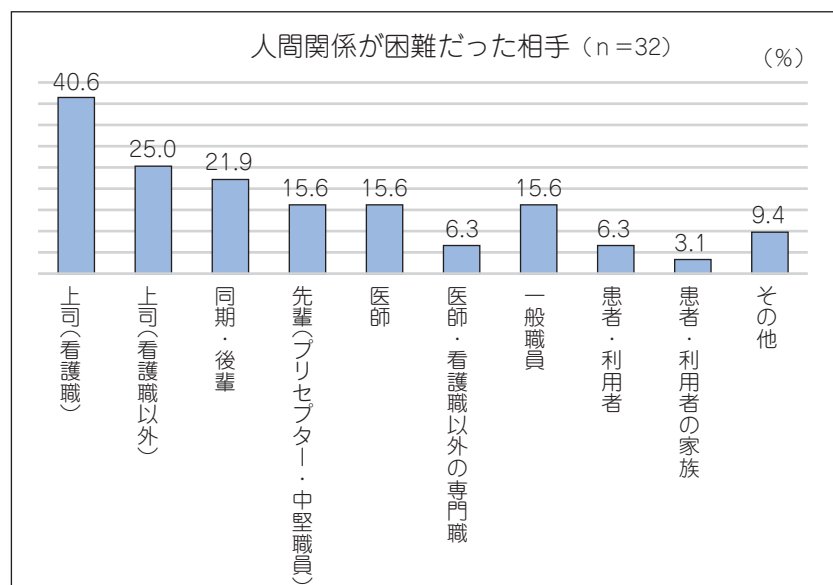
	ある	ない
全体数 n=140	41	99
割合 (%)	29.3	70.7

	1年未満での退職理由 n=41	割合 (%)
1位	人間関係（職場、患者・家族等）	31.7
2位	職場環境になじめない	29.3
3位	看護内容への不満	17.1
4位	契約期間満了のため	14.6
5位	自身の適性や能力の不安	12.2

5) 人間関係が難しかった相手（複数回答）とハラスメントの有無

退職理由に人間関係と回答した32名が、関係が困難だと感じた相手は「上司（看護職）」40.6%が最も多く、次いで「上司（看護職以外）」25.0%、「同期・後輩」21.9%であった。

また、その相手からのハラスメントについて、「あった」と回答したのは87.5%であった。



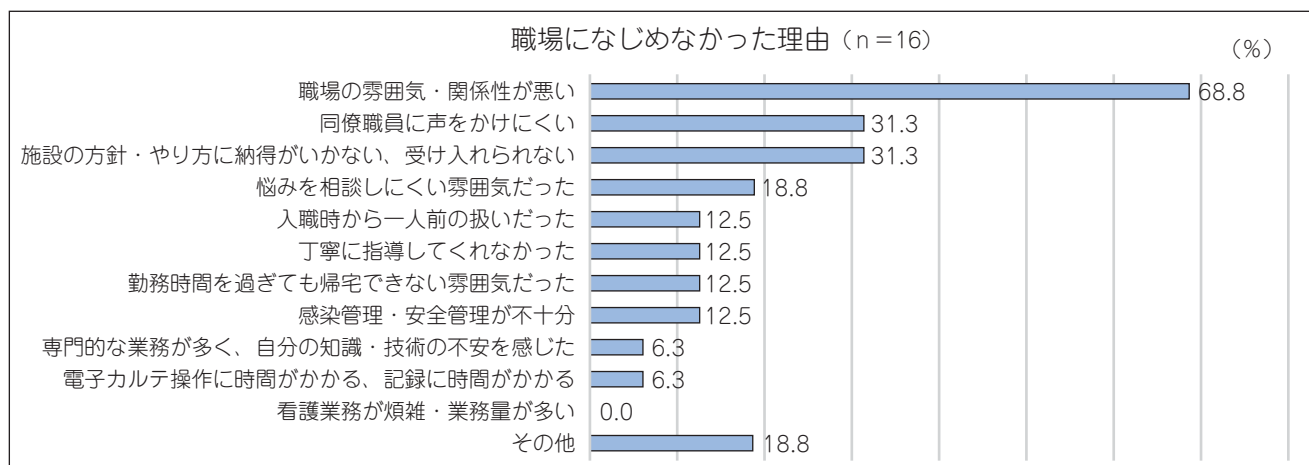
相手からのハラスメントの有無（n=32）

	あった	なかった
割合 (%)	87.5	12.5



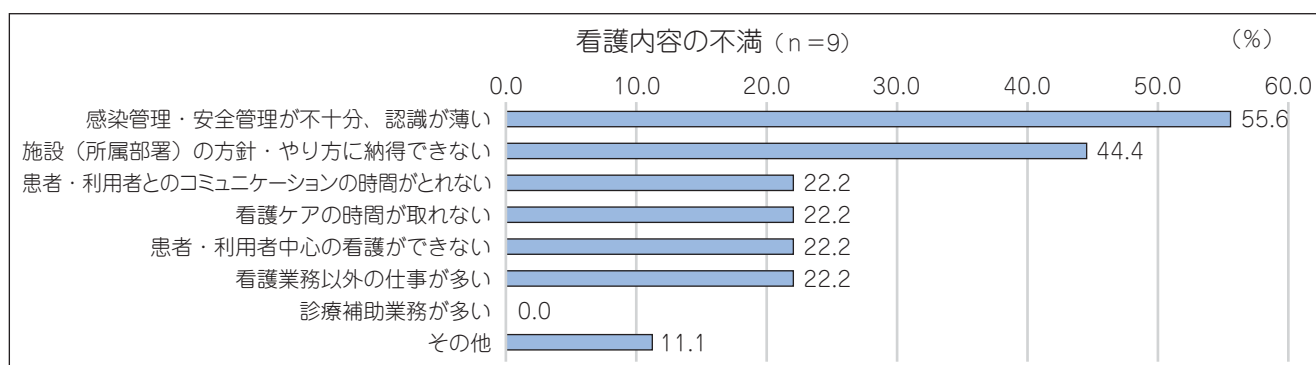
6) 職場になじめなかった理由（上位3つまでの複数回答）

退職理由に職場になじめないと回答した16名の理由は「職場の雰囲気・関係性が悪い」68.8%が最も多く、次いで「同僚職員に声をかけにくい」、「施設の方針・やり方に納得がいけない、受け入れられない」31.3%、「悩みを相談しにくい雰囲気だった」18.8%であった。



7) 看護内容の不満（上位3つまでの複数回答）

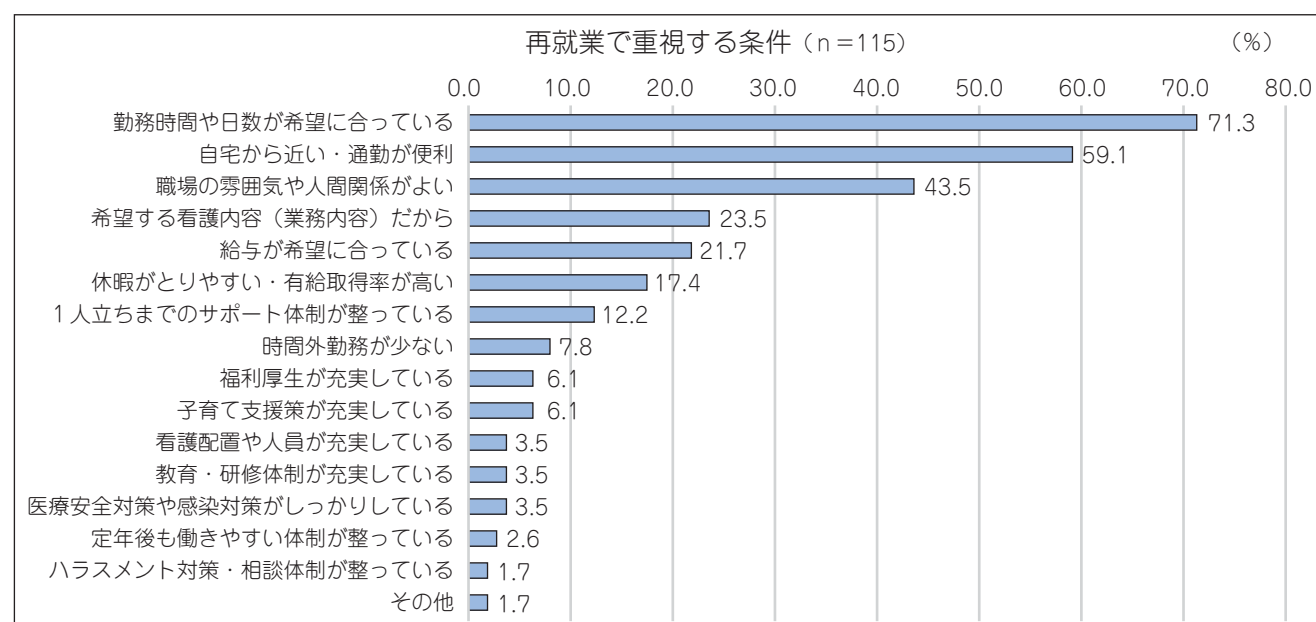
退職理由に看護内容の不満と回答した9名の不満内容は「感染管理・安全管理が不十分、認識が薄い」55.6%が最も多く、次いで「施設（所属部署）の方針・やり方に納得できない」44.4%、他はばらつきがみられた。



3. 再就業について

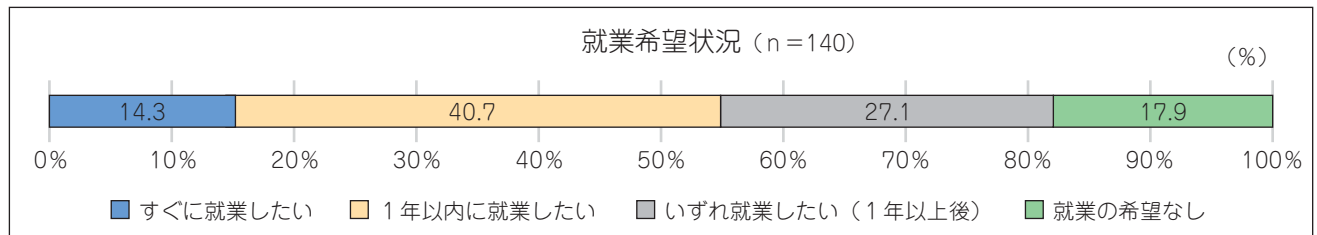
1) 再就業で重視する条件（上位3つまでの複数回答）

就業希望のある115名が重視する条件は「勤務時間や日数が希望に合っている」71.3%が最も多く、次いで「自宅から近い・通勤が便利」59.1%、「職場の雰囲気や人間関係がよい」43.5%であった。



2) 就業希望状況

再就業の意思とその希望時期は「すぐに就業したい」、「1年以内に就業したい」が合わせて半数以上であった。「いずれ就業したい（1年以上後）」を含むと全体の8割以上に就業希望があった。



3) 希望する施設（複数回答）

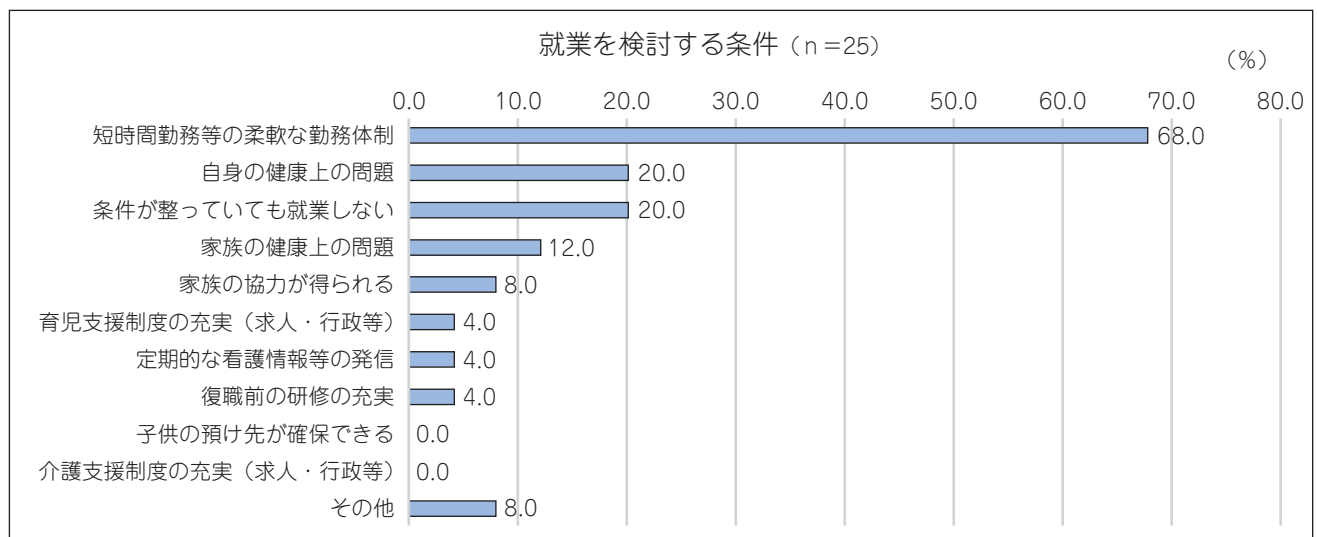
再就職先として希望する施設は「健診センター」47.0%が最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）」37.4%、「診療所」、「行政（県・市区町村・保健所等）」34.8%であった。

年代別にみると、30代では「急性期病院」と回答した割合が他の年代に比べて多く、50代、60代では「通所介護（デイサービス）」と回答した割合が最も多かった。

上段：回答数 下段：（％）		急性期 病院	慢性期 病院	療養型 病院	精神科 病院	診療所	介護老人 保健施設	介護老人 福祉施設 （特養）	通所介護 （デイ サービス）	その他 介護・ 福祉施設	訪問看護 ステー ション	行政（県・ 市区町村・ 保健所等）	健診 センター	企業・ 事業所 （産業）	看護系 教育機関	保育 施設	小・中・ 高・ 特別 支援学校	その他
全体	115	20	29	20	9	40	19	21	43	20	17	40	54	27	14	14	11	8
	100.0	17.4	25.2	17.4	7.8	34.8	16.5	18.3	37.4	17.4	14.8	34.8	47.0	23.5	12.2	12.2	9.6	7.0
20代	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	20	10	9	7	2	8	5	6	7	3	4	6	14	7	4	3	0	2
	100.0	50.0	45.0	35.0	10.0	40.0	25.0	30.0	35.0	15.0	20.0	30.0	70.0	35.0	20.0	15.0	0.0	10.0
40代	38	8	13	7	4	18	6	5	8	4	7	17	20	10	6	4	7	1
	100.0	21.1	34.2	18.4	10.5	47.4	15.8	13.2	21.1	10.5	18.4	44.7	52.6	26.3	15.8	10.5	18.4	2.6
50代	34	2	5	4	1	10	5	7	15	6	3	10	13	7	2	5	3	3
	100.0	5.9	14.7	11.8	2.9	29.4	14.7	20.6	44.1	17.6	8.8	29.4	38.2	20.6	5.9	14.7	8.8	8.8
60代	22	0	1	1	2	4	2	3	13	7	3	7	6	3	2	2	1	2
	100.0	0.0	4.5	4.5	9.1	18.2	9.1	13.6	59.1	31.8	13.6	31.8	27.3	13.6	9.1	9.1	4.5	9.1
70代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

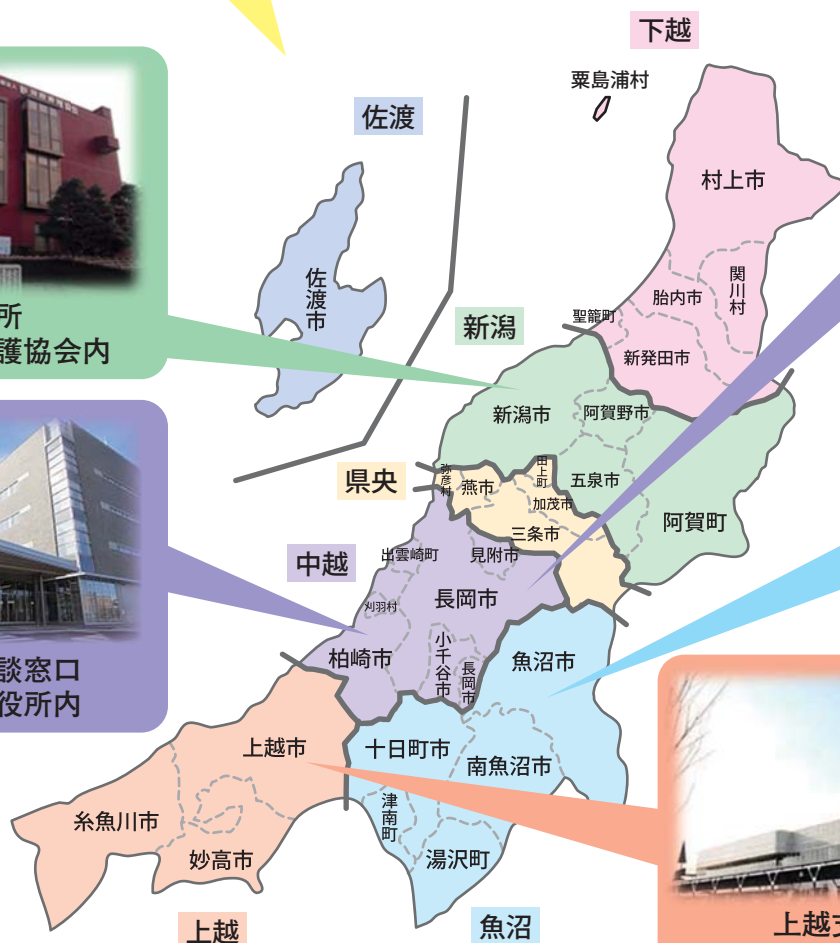
4) 就業しないと回答した者が就業を検討する条件（上位3つまでの複数回答）

就業しないと回答した25名が就業を検討する条件は「短時間勤務等の柔軟な勤務体制」(68.0%)が最も多く、次いで「自身の健康上の問題」、「条件が整っていても就業しない」20.0%、他はばらつきがみられた。



結果全文については新潟県ナースセンターのホームページに掲載予定です。お忙しい中ご協力いただきました求職者の皆様には感謝申し上げます。

新潟県ナースセンター支所・相談窓口紹介



ナースセンター	開設日	開設時間	住所	電話番号	E-mail
本 所	月～金	9:30～12:00 13:00～16:00	新潟市中央区川岸町 2-11 新潟県看護協会内	025-233-6011	niigata@nurse-center.net
上 越 支 所	火・木	10:00～15:00	上越市土橋 1914-3	070-2175-6014	nc6014@niigata-kango.com
長 岡 支 所	火・木	10:00～15:00	長岡市幸町 2-1-1	0258-86-5333	ncnagaoka@niigata-kango.com
南魚沼相談窓口	水	10:00～15:00	南魚沼市六日町 101-8	070-2175-6012	nc6012@niigata-kango.com
柏崎相談窓口	火・木	10:00～15:00	柏崎市日石町 2-1	070-2171-6013	nc6013@niigata-kango.com

※(祝日除く)



来所相談は予約制です。こちらから➡
お近くのナースセンターを是非ご活用下さい！
看護協会の会員・非会員問わずにご利用いただけます！

